

## 5.8 2次不等式の解法

実数を表す定数  $a, b, c$  (但し  $a \neq 0$ ) に対して, 実数を表す変数  $x$  に関する 2 次不等式

$$ax^2 + bx + c < 0, \quad ax^2 + bx + c \leq 0, \quad ax^2 + bx + c > 0, \quad ax^2 + bx + c \geq 0$$

を解くためには, 2 次方程式  $ax^2 + bx + c = 0$  の判別式  $b^2 - 4ac$  について,

$b^2 - 4ac \geq 0$  のときは 左辺  $ax^2 + bx + c$  を因数分解して,

$b^2 - 4ac < 0$  のときは 左辺  $ax^2 + bx + c$  を平方完成する.

最初に 2 次不等式の左辺の 2 次式  $ax^2 + bx + c$  について  $b^2 - 4ac > 0$  のときを扱う. このとき, 定理 3.5 により, 2 次式  $ax^2 + bx + c$  は係数が実数の範囲で 1 次式の積に因数分解できる.

**例** 変数  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$x^2 - 5x + 4 < 0, \quad x^2 - 5x + 4 \leq 0, \quad x^2 - 5x + 4 > 0, \quad x^2 - 5x + 4 \geq 0.$$

**例** 変数  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$x^2 - 5x + 4 < 0, \quad x^2 - 5x + 4 \leq 0, \quad x^2 - 5x + 4 > 0, \quad x^2 - 5x + 4 \geq 0.$$

左辺の 2 次式を因数分解すると  $x^2 - 5x + 4 = (x - 1)(x - 4)$  .  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x - 1)(x - 4) < 0, \quad (x - 1)(x - 4) \leq 0, \quad (x - 1)(x - 4) > 0, \quad (x - 1)(x - 4) \geq 0.$$

**例** 変数  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解く :

$$x^2 - 5x + 4 < 0, \quad x^2 - 5x + 4 \leq 0, \quad x^2 - 5x + 4 > 0, \quad x^2 - 5x + 4 \geq 0.$$

左辺の 2 次式を因数分解すると  $x^2 - 5x + 4 = (x - 1)(x - 4)$  .  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解けばよい :

$$(x - 1)(x - 4) < 0, \quad (x - 1)(x - 4) \leq 0, \quad (x - 1)(x - 4) > 0, \quad (x - 1)(x - 4) \geq 0.$$

左辺の 2 次式の因数  $x - 1$  ,  $x - 4$  の値の符号は次のようになる :

$$\begin{aligned} x < 1 \text{ のとき } x - 1 < 0, \quad x = 1 \text{ のとき } x - 1 = 0, \quad x > 1 \text{ のとき } x - 1 > 0; \\ x < 4 \text{ のとき } x - 4 < 0, \quad x = 4 \text{ のとき } x - 4 = 0, \quad x > 4 \text{ のとき } x - 4 > 0. \end{aligned}$$

**例** 変数  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解く :

$$x^2 - 5x + 4 < 0, \quad x^2 - 5x + 4 \leq 0, \quad x^2 - 5x + 4 > 0, \quad x^2 - 5x + 4 \geq 0.$$

左辺の 2 次式を因数分解すると  $x^2 - 5x + 4 = (x - 1)(x - 4)$  .  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解けばよい :

$$(x - 1)(x - 4) < 0, \quad (x - 1)(x - 4) \leq 0, \quad (x - 1)(x - 4) > 0, \quad (x - 1)(x - 4) \geq 0.$$

左辺の 2 次式の因数  $x - 1$  ,  $x - 4$  の値の符号は次のようになる :

$x < 1$  のとき  $x - 1 < 0$  ,  $x = 1$  のとき  $x - 1 = 0$  ,  $x > 1$  のとき  $x - 1 > 0$  ;

$x < 4$  のとき  $x - 4 < 0$  ,  $x = 4$  のとき  $x - 4 = 0$  ,  $x > 4$  のとき  $x - 4 > 0$  .

不等式の左辺  $(x - 1)(x - 4)$  の値の符号は次のようになる :

$x < 1$  のとき,  $x - 1 < 0$  かつ  $x - 4 < 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) > 0$  ;

$x = 1$  のとき,  $x - 1 = 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) = 0$  ;

$1 < x < 4$  のとき,  $x - 1 > 0$  かつ  $x - 4 < 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) < 0$  ;

$x = 4$  のとき,  $x - 4 = 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) = 0$  ;

$x > 4$  のとき,  $x - 1 > 0$  かつ  $x - 4 > 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) > 0$  .

$x < 1$  のとき,  $x - 1 < 0$  かつ  $x - 4 < 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) > 0$  ;

$x = 1$  のとき,  $x - 1 = 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) = 0$  ;

$1 < x < 4$  のとき,  $x - 1 > 0$  かつ  $x - 4 < 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) < 0$  ;

$x = 4$  のとき,  $x - 4 = 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) = 0$  ;

$x > 4$  のとき,  $x - 1 > 0$  かつ  $x - 4 > 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) > 0$  .

$x < 1$  のとき,  $x - 1 < 0$  かつ  $x - 4 < 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) > 0$  ;

$x = 1$  のとき,  $x - 1 = 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) = 0$  ;

$1 < x < 4$  のとき,  $x - 1 > 0$  かつ  $x - 4 < 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) < 0$  ;

$x = 4$  のとき,  $x - 4 = 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) = 0$  ;

$x > 4$  のとき,  $x - 1 > 0$  かつ  $x - 4 > 0$  なので  $(x - 1)(x - 4) > 0$  .

これらのことを次のような表で表す.

$x$ の値	$x < 1$	$x = 1$	$1 < x < 4$	$x = 4$	$4 < x$
$x - 1$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - 4$ の値の符号	-	-	-	0	+
$(x - 1)(x - 4)$ の値の符号	+	0	-	0	+

$x$ の値	$x < 1$	$x = 1$	$1 < x < 4$	$x = 4$	$4 < x$
$x - 1$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - 4$ の値の符号	-	-	-	0	+
$(x - 1)(x - 4)$ の値の符号	+	0	-	0	+

$x$ の値	$x < 1$	$x = 1$	$1 < x < 4$	$x = 4$	$4 < x$
$x - 1$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - 4$ の値の符号	-	-	-	0	+
$(x - 1)(x - 4)$ の値の符号	+	0	-	0	+

この表から次のことが分かる :

$$(x - 1)(x - 4) < 0 \Leftrightarrow (x - 1)(x - 4) \text{ の符号は } - \Leftrightarrow 1 < x < 4 ;$$

$$(x - 1)(x - 4) \leq 0 \Leftrightarrow (x - 1)(x - 4) \text{ の符号は } - \text{ か } 0 \Leftrightarrow 1 \leq x \leq 4 ;$$

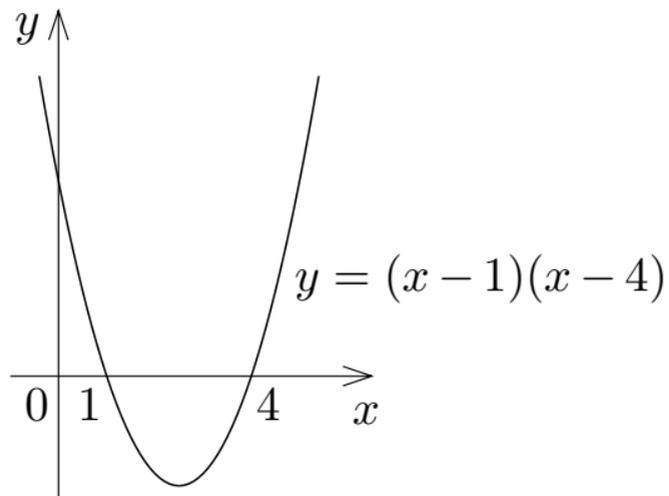
$$(x - 1)(x - 4) > 0 \Leftrightarrow (x - 1)(x - 4) \text{ の符号は } + \Leftrightarrow x < 1 \text{ または } x > 4 ;$$

$$(x - 1)(x - 4) \geq 0 \Leftrightarrow (x - 1)(x - 4) \text{ の符号は } + \text{ か } 0 \Leftrightarrow x \leq 1 \text{ または } x \geq 4 .$$

これらのことは  $x$  の関数  $y = (x - 1)(x - 4)$  のグラフを考えても分かる.

$xy$  座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$  のグラフは下に凸の放物線である。



$xy$  座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸

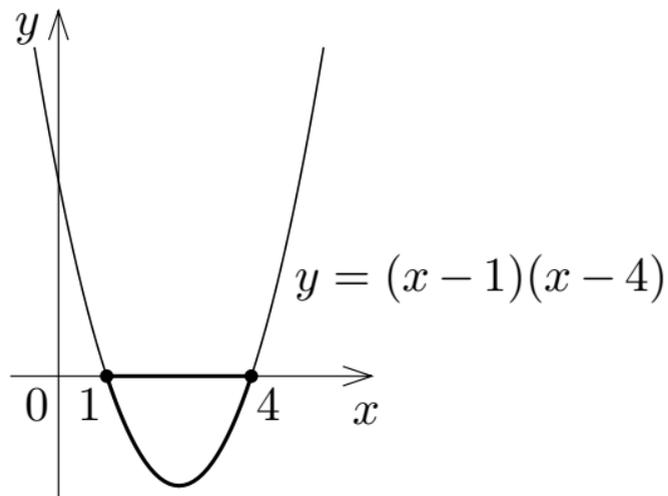
との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とで

ある。また、 $y = (x-1)(x-4)$  の

グラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$  について、

$$(x-1)(x-4) \leq 0 \iff y \leq 0 .$$



$xy$  座標平面において、関数

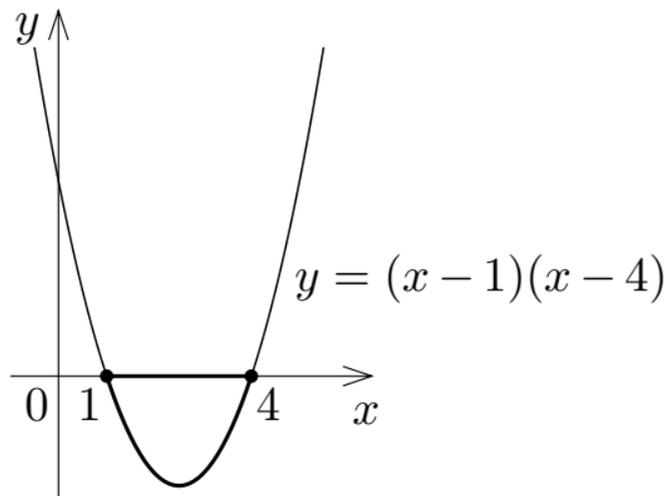
$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$  のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$  について、

$$(x-1)(x-4) \leq 0 \iff y \leq 0 .$$

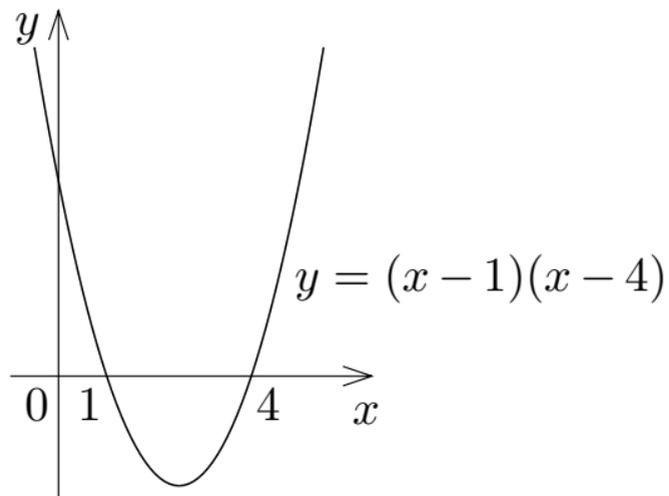
$y = (x-1)(x-4)$  のグラフにおいて、 $x$  座標について  $(x-1)(x-4) \leq 0$  となる部分は  $y$  座標が  $0$  以下の部分である；この部分の  $x$  座標の範囲は  $1 \leq x \leq 4$  なので、

$$y = (x-1)(x-4) \leq 0 \iff 1 \leq x \leq 4 .$$



$xy$  座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$  のグラフは下に凸の放物線である。



$xy$  座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸

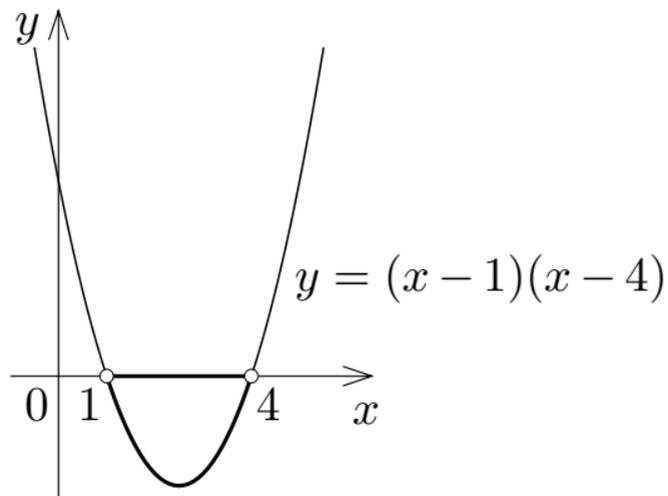
との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とで

ある。また、 $y = (x-1)(x-4)$  の

グラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$  について、

$$(x-1)(x-4) < 0 \iff y < 0 .$$



$xy$  座標平面において、関数

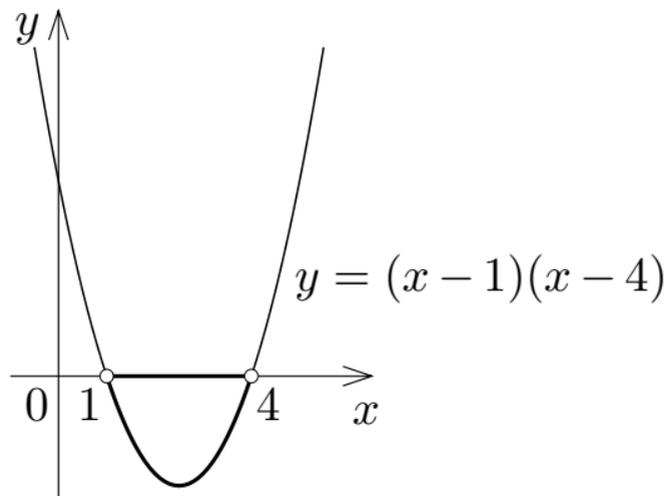
$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$  のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$  について、

$$(x-1)(x-4) < 0 \iff y < 0 .$$

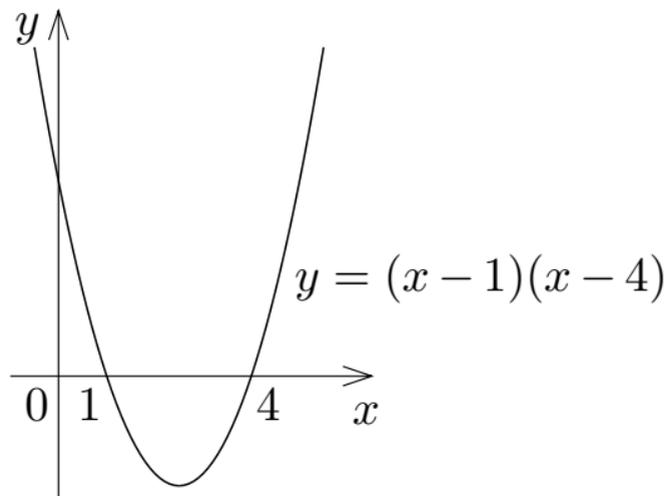
$y = (x-1)(x-4)$  のグラフにおいて、 $x$  座標について  $(x-1)(x-4) < 0$  となる部分は  $y$  座標が  $0$  より小さい部分である；この部分の  $x$  座標の範囲は  $1 < x < 4$  なので、

$$y = (x-1)(x-4) < 0 \iff 1 < x < 4 .$$



$xy$  座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$  のグラフは下に凸の放物線である。



$xy$  座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸

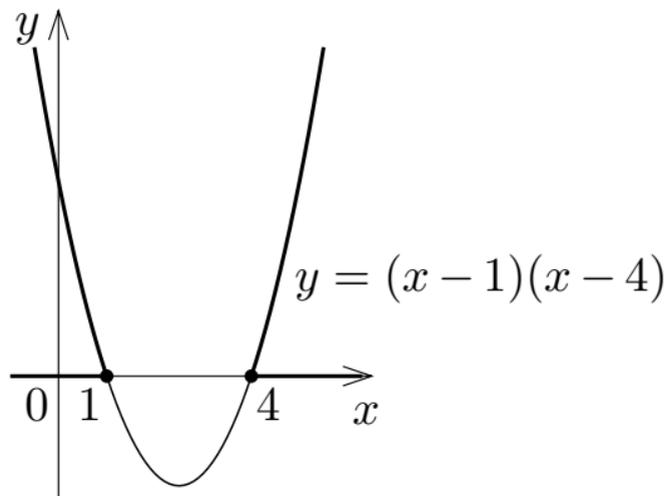
との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とで

ある。また、 $y = (x-1)(x-4)$  の

グラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$  について、

$$(x-1)(x-4) \geq 0 \iff y \geq 0 .$$



$xy$  座標平面において、関数

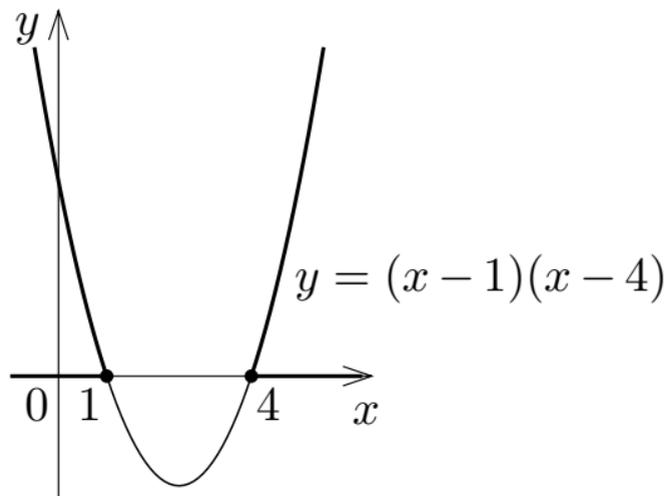
$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$  のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$  について、

$$(x-1)(x-4) \geq 0 \iff y \geq 0 .$$

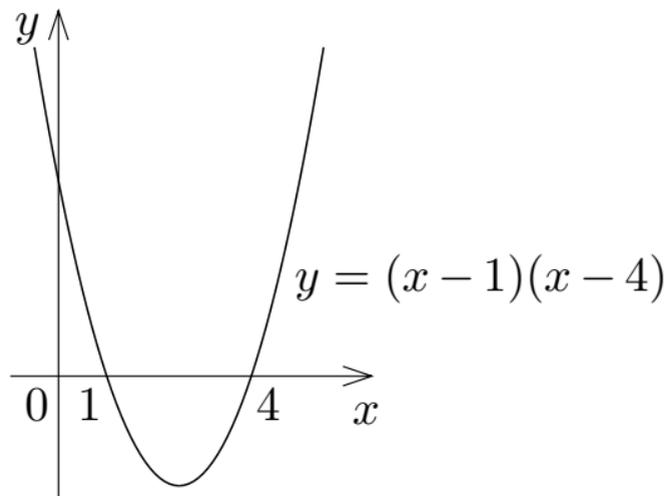
$y = (x-1)(x-4)$  のグラフにおいて、 $x$  座標について  $(x-1)(x-4) \geq 0$  となる部分は  $y$  座標が  $0$  以上の部分である；この部分の  $x$  座標の範囲は  $x \leq 1$  と  $x \geq 4$  なので、

$$y = (x-1)(x-4) \geq 0 \iff x \leq 1 \text{ または } x \geq 4 .$$



$xy$  座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$  のグラフは下に凸の放物線である。



$xy$  座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸

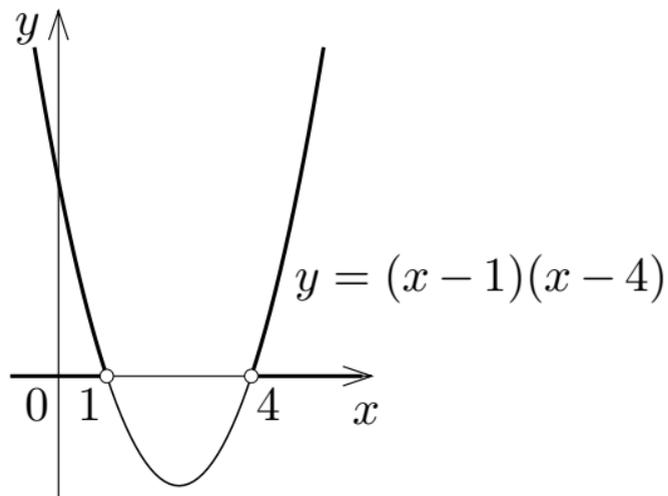
との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とで

ある。また、 $y = (x-1)(x-4)$  の

グラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$  について、

$$(x-1)(x-4) > 0 \iff y > 0 .$$



$xy$  座標平面において、関数

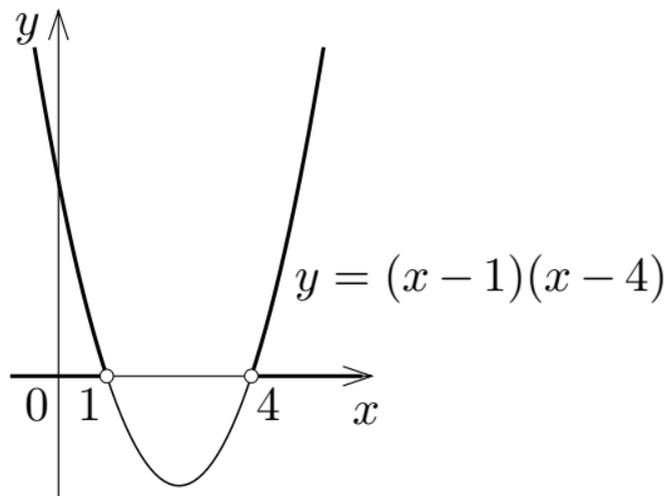
$y = (x-1)(x-4)$  のグラフと  $x$  軸との共有点は  $(1,0)$  と  $(4,0)$  とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$  のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$  について、

$$(x-1)(x-4) > 0 \iff y > 0 .$$

$y = (x-1)(x-4)$  のグラフにおいて、 $x$  座標について  $(x-1)(x-4) > 0$  となる部分は  $y$  座標が  $0$  より大きい部分である；この部分の  $x$  座標の範囲は  $x < 1$  と  $x > 4$  なので、

$$y = (x-1)(x-4) > 0 \iff x < 1 \text{ または } x > 4 .$$



このようにして以下のことが分かる：

不等式  $(x-1)(x-4) < 0$  を解くと  $1 < x < 4$  ，

不等式  $(x-1)(x-4) \leq 0$  を解くと  $1 \leq x \leq 4$  ，

不等式  $(x-1)(x-4) > 0$  を解くと  $x < 1$  または  $x > 4$  ，

不等式  $(x-1)(x-4) \geq 0$  を解くと  $x \leq 1$  または  $x \geq 4$  .

終

**例** 変数  $x$  に関する不等式  $6 - 2x^2 \leq x$  を解く.

**例** 変数  $x$  に関する不等式  $6 - 2x^2 \leq x$  を解く. 不等式  $6 - 2x^2 \leq x$  より

$$-2x^2 - x + 6 \leq 0 .$$

**例** 変数  $x$  に関する不等式  $6 - 2x^2 \leq x$  を解く. 不等式  $6 - 2x^2 \leq x$  より  $-2x^2 - x + 6 \leq 0$ .  $x^2$  の係数を正にする方が考え易いので, 両辺に  $-1$  を掛けて

$$2x^2 + x - 6 \geq 0 .$$

2次方程式  $2x^2 + x - 6 = 0$  の判別式の値が正なので, 2次式を因数分解するタイプである.

**例** 変数  $x$  に関する不等式  $6 - 2x^2 \leq x$  を解く. 不等式  $6 - 2x^2 \leq x$  より  $-2x^2 - x + 6 \leq 0$ .  $x^2$  の係数を正にする方が考え易いので, 両辺に  $-1$  を掛けて

$$2x^2 + x - 6 \geq 0 .$$

左辺を因数分解すると  $2x^2 + x - 6 = (x + 2)(2x - 3)$  なので

$$(x + 2)(2x - 3) \geq 0 .$$

**例** 変数  $x$  に関する不等式  $6 - 2x^2 \leq x$  を解く. 不等式  $6 - 2x^2 \leq x$  より  $-2x^2 - x + 6 \leq 0$ .  $x^2$  の係数を正にする方が考え易いので, 両辺に  $-1$  を掛けて

$$2x^2 + x - 6 \geq 0 .$$

左辺を因数分解すると  $2x^2 + x - 6 = (x + 2)(2x - 3)$  なので

$$(x + 2)(2x - 3) \geq 0 .$$

符号を調べるためには  $x$  の係数が  $1$  の方が分かりやすいので, 左辺の因数  $2x - 3$  と右辺とを  $2$  で割る :

$$(x + 2) \left( \frac{2x - 3}{2} \right) \geq \frac{0}{2} ,$$

$$(x + 2) \left( x - \frac{3}{2} \right) \geq 0 .$$

**例** 変数  $x$  に関する不等式  $6 - 2x^2 \leq x$  を解く. 不等式  $6 - 2x^2 \leq x$  より  $-2x^2 - x + 6 \leq 0$ .  $x^2$  の係数を正にする方が考え易いので, 両辺に  $-1$  を掛けて

$$2x^2 + x - 6 \geq 0 .$$

左辺を因数分解すると  $2x^2 + x - 6 = (x + 2)(2x - 3)$  なので

$$(x + 2)(2x - 3) \geq 0 .$$

符号を調べるためには  $x$  の係数が  $1$  の方が分かりやすいので, 左辺の因数  $2x - 3$  と右辺とを  $2$  で割る :

$$(x + 2) \left( \frac{2x - 3}{2} \right) \geq \frac{0}{2} ,$$

$$(x + 2) \left( x - \frac{3}{2} \right) \geq 0 .$$

$x$  の値について場合分けして, 左辺の  $2$  次式の値の符号を調べる.

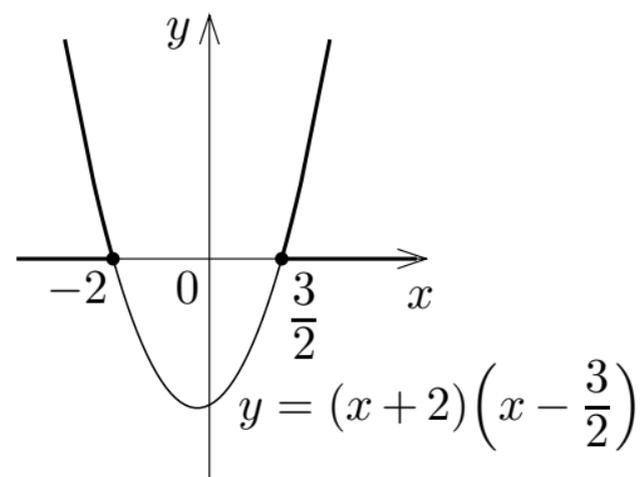
$x$ の値	$x < -2$	$x = -2$	$-2 < x < \frac{3}{2}$	$x = \frac{3}{2}$	$\frac{3}{2} < x$
$x + 2$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - \frac{3}{2}$ の値の符号	-	-	-	0	+
$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right)$ の値の符号	+	0	-	0	+

$x$ の値	$x < -2$	$x = -2$	$-2 < x < \frac{3}{2}$	$x = \frac{3}{2}$	$\frac{3}{2} < x$
$x + 2$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - \frac{3}{2}$ の値の符号	-	-	-	0	+
$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right)$ の値の符号	+	0	-	0	+

この表を次のように略す.

$x$	...	-2	...	$\frac{3}{2}$	...
$x + 2$	-	0	+	+	+
$x - \frac{3}{2}$	-	-	-	0	+
$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right)$	+	0	-	0	+

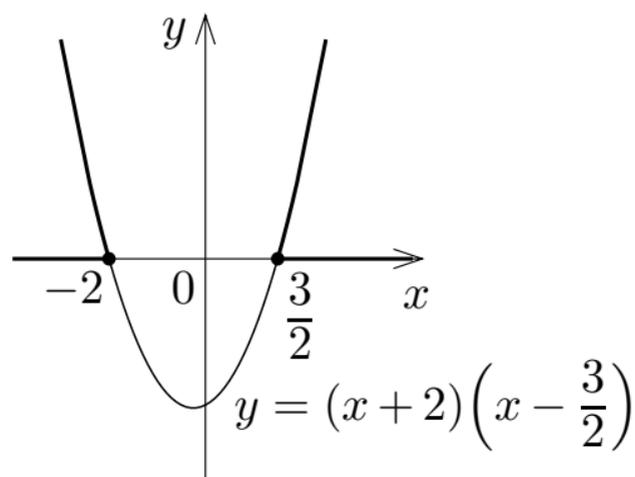
$x$	$\dots$	$-2$	$\dots$	$\frac{3}{2}$	$\dots$
$x + 2$	$-$	$0$	$+$	$+$	$+$
$x - \frac{3}{2}$	$-$	$-$	$-$	$0$	$+$
$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right)$	$+$	$0$	$-$	$0$	$+$



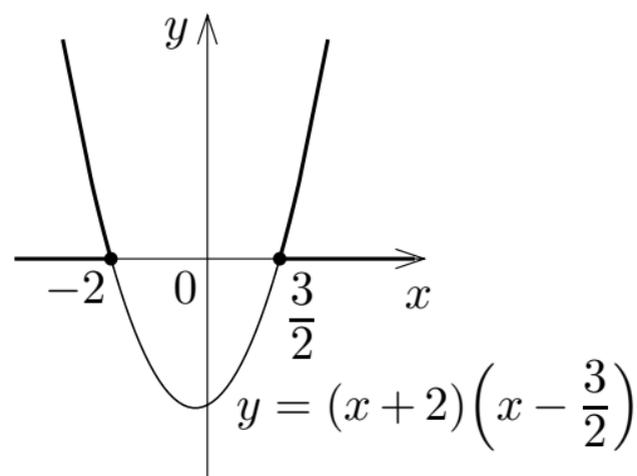
$x$	...	$-2$	...	$\frac{3}{2}$	...
$x + 2$	-	$0$	+	+	+
$x - \frac{3}{2}$	-	-	-	$0$	+
$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right)$	+	$0$	-	$0$	+

この表より,

$$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right) \geq 0 \iff x \leq -2 \text{ または } x \geq \frac{3}{2} .$$



$x$	...	$-2$	...	$\frac{3}{2}$	...
$x + 2$	-	$0$	+	+	+
$x - \frac{3}{2}$	-	-	-	$0$	+
$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right)$	+	$0$	-	$0$	+



この表より,

$$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right) \geq 0 \iff x \leq -2 \text{ または } x \geq \frac{3}{2} .$$

故に, 与えられた不等式を解くと,  $x \leq -2$  または  $x \geq \frac{3}{2}$  .

終

問5.8.1 変数  $x$  に関する以不等式  $3x^2 + 7x > 6$  を解け.

不等式  $3x^2 + 7x > 6$  より,

$$3x^2 - 2x - 2 > 0,$$

$$(x - 1)(x + 2) > 0,$$

$$(x - 1)(x + 2) > 0,$$

よって, 与えられた不等式を解くと,

$x$	...		...		...
$x$					
$(x - 1)(x + 2)$					

問5.8.1 変数  $x$  に関する以不等式  $3x^2 + 7x > 6$  を解け.

不等式  $3x^2 + 7x > 6$  より,

$$3x^2 + 7x - 6 > 0 ,$$

$$(x + 3)(3x - 2) > 0 ,$$

$$(x + 3)\left(x - \frac{2}{3}\right) > 0 ,$$

故に, 与えられた不等式を解くと,  
 $x < -3$  または  $x > \frac{2}{3}$  .

$x$	...	$-3$	...	$\frac{2}{3}$	...
$x + 3$	-	0	+	+	+
$x - \frac{2}{3}$	-	0	-	0	+
$(x + 3)\left(x - \frac{2}{3}\right)$	+	0	-	0	+

終

問5.8.2 変数  $y$  に関する以不等式  $y + 12 \geq 6y^2$  を解け.

不等式  $y + 12 \geq 6y^2$  より,

$$\leq 0,$$

$$(\quad)(\quad) \leq 0,$$

$$(y \quad)(y \quad) \leq 0,$$

よって, 与えられた不等式を解くと,

$y$	...		...		...
$y$					
$y$					
$(y \quad)(y \quad)$					

問5.8.2 変数  $y$  に関する以不等式  $y + 12 \geq 6y^2$  を解け.

不等式  $y + 12 \geq 6y^2$  より,

$$6y^2 - y - 12 \leq 0 ,$$

$$(3y + 4)(2y - 3) \leq 0 ,$$

$$\left(y + \frac{4}{3}\right)\left(y - \frac{3}{2}\right) \leq 0 ,$$

故に, 与えられた不等式を解くと,  
 $-\frac{4}{3} \leq y \leq \frac{3}{2}$  .

$y$	...	$-\frac{4}{3}$	...	$\frac{3}{2}$	...
$y + \frac{4}{3}$	-	0	+	+	+
$y - \frac{3}{2}$	-	-	-	0	+
$\left(y + \frac{4}{3}\right)\left(y - \frac{3}{2}\right)$	-	0	-	0	+

終

2 次式の因数分解の公式 (3.5 節) を思い起こすこと : 複素数  $a, b, c$  ( $a \neq 0$ ) について,  $x$  に関する 2 次方程式  $ax^2 + bx + c = 0$  の 2 個の解を  $\alpha, \beta$  とおくと,  $x$  の 2 次式  $ax^2 + bx + c$  は次のように因数分解できる :

$$ax^2 + bx + c = a(x - \alpha)(x - \beta) .$$

**例** 変数  $k$  に関する不等式  $k(6 - k) > 7$  を解く.

**例** 変数  $k$  に関する不等式  $k(6-k) > 7$  を解く. 不等式  $k(6-k) > 7$  より,  
 $6k - k^2 > 7$  なので

$$k^2 - 6k + 7 < 0 .$$

2 次方程式  $k^2 - 6k + 7 = 0$  の判別式の値が正なので, 2 次式を因数分解するタイプである.

**例** 変数  $k$  に関する不等式  $k(6-k) > 7$  を解く. 不等式  $k(6-k) > 7$  より,  
 $6k - k^2 > 7$  なので

$$k^2 - 6k + 7 < 0 .$$

$k$  に関する 2 次方程式  $k^2 - 6k + 7 = 0$  の解は  $3 \pm \sqrt{2}$  なので, 2 次式の因数分解の公式 (3.5 節) により

$$k^2 - 6k + 7 = (k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2}) .$$

**例** 変数  $k$  に関する不等式  $k(6-k) > 7$  を解く. 不等式  $k(6-k) > 7$  より,  
 $6k - k^2 > 7$  なので

$$k^2 - 6k + 7 < 0 .$$

$k$  に関する 2 次方程式  $k^2 - 6k + 7 = 0$  の解は  $3 \pm \sqrt{2}$  なので, 2 次式の因数分解の公式 (3.5 節) により

$$k^2 - 6k + 7 = (k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2}) .$$

この  $k$  の 2 次式の値の符号を調べる.

$k$	...	$3 - \sqrt{2}$	...	$3 + \sqrt{2}$	...
$k - 3 + \sqrt{2}$	-	0	+	+	+
$k - 3 - \sqrt{2}$	-	-	-	0	+
$(k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2})$	+	0	-	0	+

$k$	$\dots$	$3 - \sqrt{2}$	$\dots$	$3 + \sqrt{2}$	$\dots$
$k - 3 + \sqrt{2}$	$-$	$0$	$+$	$+$	$+$
$k - 3 - \sqrt{2}$	$-$	$-$	$-$	$0$	$+$
$(k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2})$	$+$	$0$	$-$	$0$	$+$

$k$	$\dots$	$3 - \sqrt{2}$	$\dots$	$3 + \sqrt{2}$	$\dots$
$k - 3 + \sqrt{2}$	$-$	$0$	$+$	$+$	$+$
$k - 3 - \sqrt{2}$	$-$	$-$	$-$	$0$	$+$
$(k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2})$	$+$	$0$	$-$	$0$	$+$

この表より

$$\begin{aligned}
 k^2 - 6k + 7 < 0 &\iff (k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2}) < 0 \\
 &\iff 3 - \sqrt{2} < k < 3 + \sqrt{2} .
 \end{aligned}$$

$k$	$\dots$	$3 - \sqrt{2}$	$\dots$	$3 + \sqrt{2}$	$\dots$
$k - 3 + \sqrt{2}$	$-$	$0$	$+$	$+$	$+$
$k - 3 - \sqrt{2}$	$-$	$-$	$-$	$0$	$+$
$(k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2})$	$+$	$0$	$-$	$0$	$+$

この表より

$$\begin{aligned}
 k^2 - 6k + 7 < 0 &\iff (k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2}) < 0 \\
 &\iff 3 - \sqrt{2} < k < 3 + \sqrt{2} .
 \end{aligned}$$

故に、与えられた不等式を解くと  $3 - \sqrt{2} < k < 3 + \sqrt{2}$  .

終

問5.8.3 変数  $a$  に関する不等式  $a^2 + 4 \geq 6a$  を解け.

不等式  $a^2 + 4 \geq 6a$  より

$$\geq 0 .$$

方程式  $\quad = 0$  の解は  $\quad$  なので,

$$(a \quad)(a \quad) \geq 0 .$$

$a$	...		...		...
$a$					
$a$					
$(a \quad)(a \quad)$					

与えられた不等式を解くと,

問5.8.3 変数  $a$  に関する不等式  $a^2 + 4 \geq 6a$  を解け.

不等式  $a^2 + 4 \geq 6a$  より

$$a^2 - 6a + 4 \geq 0 .$$

方程式  $a^2 - 6a + 4 = 0$  の解は  $3 \pm \sqrt{5}$  なので,

$$(a - 3 + \sqrt{5})(a - 3 - \sqrt{5}) \geq 0 .$$

$k$	...	$3 - \sqrt{5}$	...	$3 + \sqrt{5}$	...
$a - 3 + \sqrt{5}$	-	0	+	+	+
$a - 3 - \sqrt{5}$	-	-	-	0	+
$(a - 3 + \sqrt{5})(a - 3 - \sqrt{5})$	+	0	-	0	+

故に, 与えられた不等式を解くと,  $a \leq 3 - \sqrt{5}$  または  $a \geq 3 + \sqrt{5}$  .

終

問5.8.4 変数  $t$  に関する不等式  $2t(t+2) < 1$  を解け.

不等式  $2t(t+2) < 1$  より  $\quad < 0$  ,  $t^2 \quad < 0$  , 方程式

$t^2 = 0$  の解は  $\quad$  なので,

$$\left( t \quad \right) \left( t \quad \right) < 0 .$$

$t$	...		...		...
$t$					
$t$					
$\left( t \quad \right) \left( t \quad \right)$					

与えられた不等式を解くと,

問5.8.4 変数  $t$  に関する不等式  $2t(t+2) < 1$  を解け.

不等式  $2t(t+2) < 1$  より  $2t^2 + 4t - 1 < 0$  ,  $t^2 + 2t - \frac{1}{2} < 0$  , 方程式

$t^2 + 2t - \frac{1}{2} = 0$  の解は  $-1 \pm \frac{\sqrt{6}}{2}$  なので,

$$\left(t + 1 + \frac{\sqrt{6}}{2}\right) \left(t + 1 - \frac{\sqrt{6}}{2}\right) < 0 .$$

$t$	...	$-1 - \frac{\sqrt{6}}{2}$	...	$-1 + \frac{\sqrt{6}}{2}$	...
$t + 1 + \frac{\sqrt{6}}{2}$	-	0	+	+	+
$t + 1 - \frac{\sqrt{6}}{2}$	-	-	-	0	+
$\left(t + 1 + \frac{\sqrt{6}}{2}\right) \left(t + 1 - \frac{\sqrt{6}}{2}\right)$	+	0	-	0	+

故に, 与えられた不等式を解くと,  $-1 - \frac{\sqrt{6}}{2} < t < -1 + \frac{\sqrt{6}}{2}$  .

終

次に 2 次不等式の左辺の 2 次式  $ax^2 + bx + c$  について  $b^2 - 4ac = 0$  のときを扱う. このとき, 定理 3.4 により, 2 次方程式  $ax^2 + bx + c = 0$  には実数の重解  $\alpha$  があり, 2 次式  $ax^2 + bx + c$  は  $a(x - \alpha)^2$  の形に因数分解できる.

**例** 変数  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解く :

$$x^2 - 6x + 9 \geq 0, \quad x^2 - 6x + 9 < 0, \quad x^2 - 6x + 9 > 0, \quad x^2 - 6x + 9 \leq 0 .$$

**例** 変数  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$x^2 - 6x + 9 \geq 0, \quad x^2 - 6x + 9 < 0, \quad x^2 - 6x + 9 > 0, \quad x^2 - 6x + 9 \leq 0 .$$

左辺の 2 次式  $x^2 - 6x + 9$  を因数分解すると

$$x^2 - 6x + 9 = (x - 3)^2 .$$

**例** 変数  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$x^2 - 6x + 9 \geq 0, \quad x^2 - 6x + 9 < 0, \quad x^2 - 6x + 9 > 0, \quad x^2 - 6x + 9 \leq 0.$$

左辺の 2 次式  $x^2 - 6x + 9$  を因数分解すると

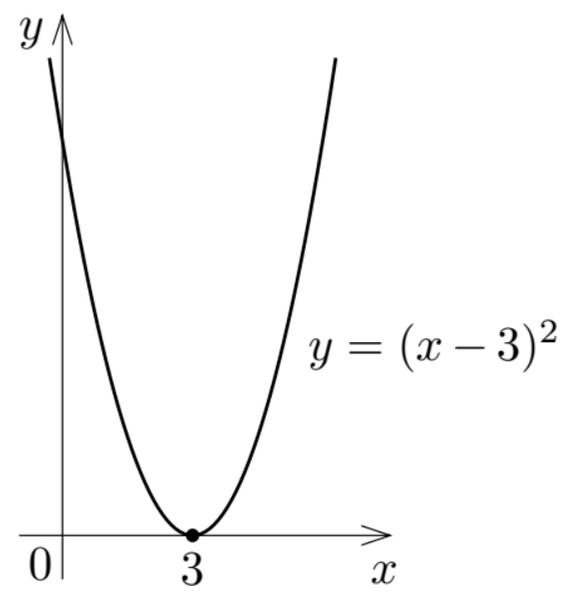
$$x^2 - 6x + 9 = (x - 3)^2.$$

$x$  に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x - 3)^2 \geq 0, \quad (x - 3)^2 < 0, \quad (x - 3)^2 > 0, \quad (x - 3)^2 \leq 0.$$

$x$  に関する以下の 2 次不等式を解けばよい :

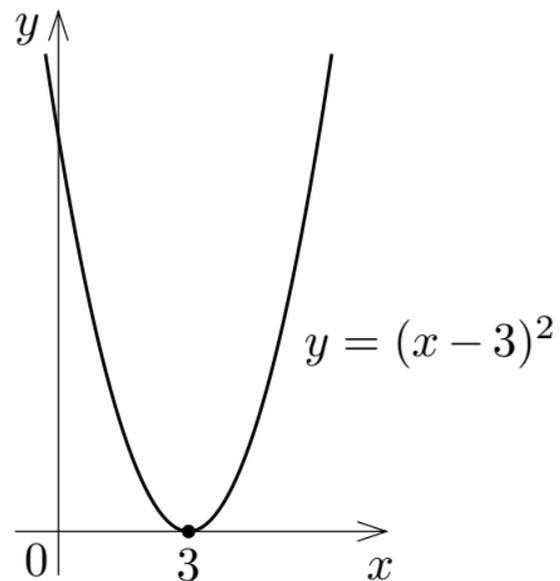
$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$



$x$  に関する以下の 2 次不等式を解けばよい :

$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$

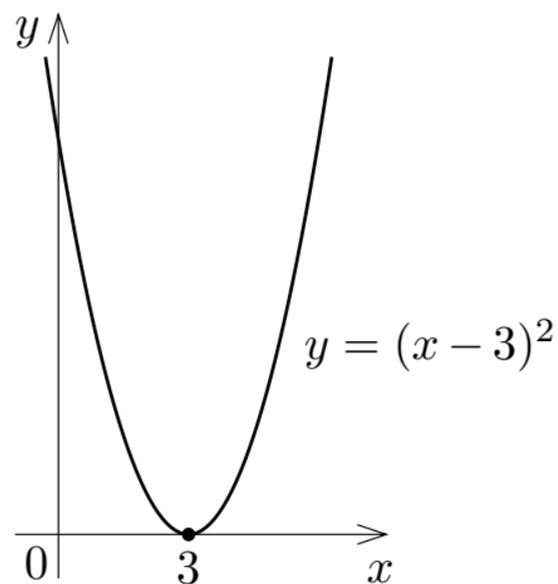
$x$  がどんな実数でも  $(x-3)^2 \geq 0$  なので、総ての実数が不等式  $(x-3)^2 \geq 0$  の解ある.



$x$  に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$

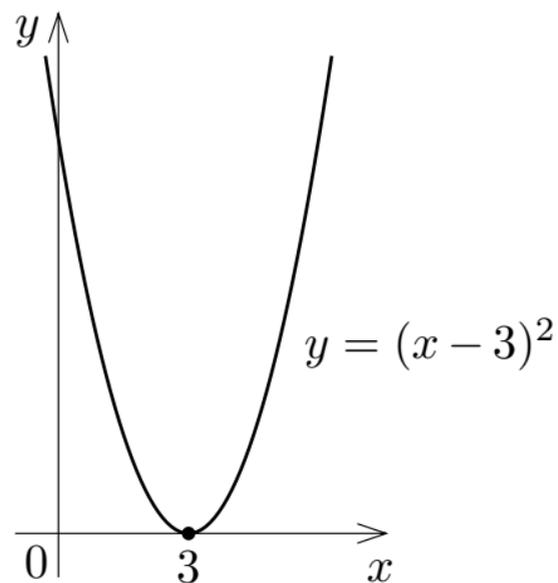
$x$  がどんな実数でも  $(x-3)^2 \geq 0$  なので、総ての実数が不等式  $(x-3)^2 \geq 0$  の解ある。 $x$  がどんな実数でも  $(x-3)^2 \geq 0$  なので、 $(x-3)^2 < 0$  である実数  $x$  は無い；つまり、不等式  $(x-3)^2 < 0$  の解は無い。



$x$  に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$

$x$  がどんな実数でも  $(x-3)^2 \geq 0$  なので、総ての実数が不等式  $(x-3)^2 \geq 0$  の解ある。 $x$  がどんな実数でも  $(x-3)^2 \geq 0$  なので、 $(x-3)^2 < 0$  である実数  $x$  は無い；つまり、不等式  $(x-3)^2 < 0$  の解は無い。定理 1.5.11 “任意の実数  $a$  について、 $a^2 \leq 0 \iff a = 0$  ,  $a^2 > 0 \iff a \neq 0$  .” により、



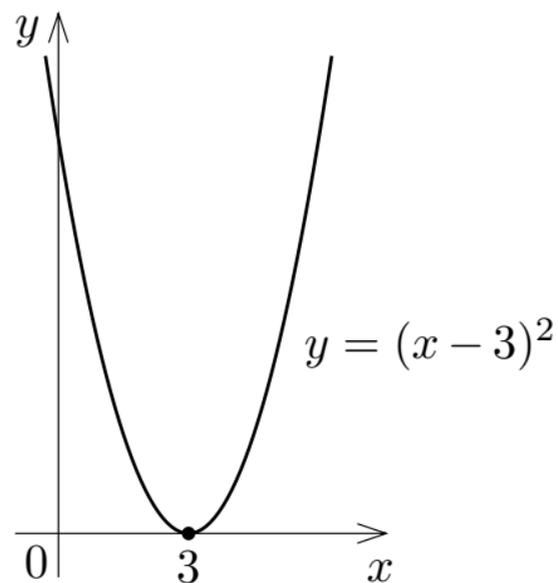
$x$  に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$

$x$  がどんな実数でも  $(x-3)^2 \geq 0$  なので、総ての実数が不等式  $(x-3)^2 \geq 0$  の解ある。 $x$  がどんな実数でも  $(x-3)^2 \geq 0$  なので、 $(x-3)^2 < 0$  である実数  $x$  は無い；つまり、不等式  $(x-3)^2 < 0$  の解は無い。定理 1.5.11 “任意の実数  $a$  について、 $a^2 \leq 0 \iff a = 0$ ,  $a^2 > 0 \iff a \neq 0$ .” により、

$$(x-3)^2 \leq 0 \iff x-3=0 \iff x=3,$$

$$(x-3)^2 > 0 \iff x-3 \neq 0 \iff x \neq 3.$$



$x$  に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

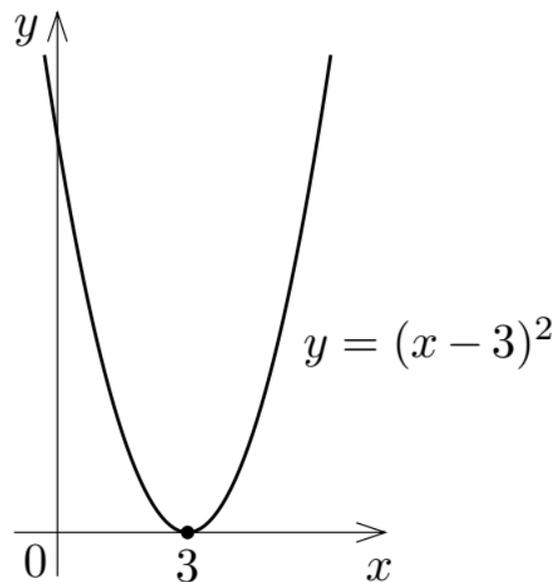
$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$

$x$  がどんな実数でも  $(x-3)^2 \geq 0$  なので、総ての実数が不等式  $(x-3)^2 \geq 0$  の解ある。 $x$  がどんな実数でも  $(x-3)^2 \geq 0$  なので、 $(x-3)^2 < 0$  である実数  $x$  は無い；つまり、不等式  $(x-3)^2 < 0$  の解は無い。定理 1.5.11 “任意の実数  $a$  について、 $a^2 \leq 0 \iff a = 0$ ,  $a^2 > 0 \iff a \neq 0$ .” により、

$$(x-3)^2 \leq 0 \iff x-3=0 \iff x=3,$$

$$(x-3)^2 > 0 \iff x-3 \neq 0 \iff x \neq 3.$$

故に、不等式  $(x-3)^2 \leq 0$  を解くと  $x=3$ , 不等式  $(x-3)^2 > 0$  を解くと  $x \neq 3$ .



**例** 変数  $a$  に関する不等式  $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$  を解く.

**例** 変数  $a$  に関する不等式  $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$  を解く. 不等式  $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$  より

$$-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} \geq 0 .$$

2次方程式  $-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} = 0$  の判別式の値が 0 なので, 2次式を因数分解するタイプである.

例 変数  $a$  に関する不等式  $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$  を解く. 不等式  $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$  より

$$-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} \geq 0 .$$

両辺に  $-3$  を掛けて

$$a^2 - 3a + \frac{9}{4} \leq 0 .$$

**例** 変数  $a$  に関する不等式  $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$  を解く. 不等式  $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$  より

$$-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} \geq 0 .$$

両辺に  $-3$  を掛けて

$$a^2 - 3a + \frac{9}{4} \leq 0 .$$

この不等式の左辺は  $a^2 - 3a + \frac{9}{4} = \left(a - \frac{3}{2}\right)^2$  なので,

$$\left(a - \frac{3}{2}\right)^2 \leq 0 .$$

**例** 変数  $a$  に関する不等式  $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$  を解く. 不等式  $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$  より

$$-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} \geq 0 .$$

両辺に  $-3$  を掛けて

$$a^2 - 3a + \frac{9}{4} \leq 0 .$$

この不等式の左辺は  $a^2 - 3a + \frac{9}{4} = \left(a - \frac{3}{2}\right)^2$  なので,

$$\left(a - \frac{3}{2}\right)^2 \leq 0 .$$

よって  $a - \frac{3}{2} = 0$  なので  $a = \frac{3}{2}$  .

**例** 変数  $a$  に関する不等式  $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$  を解く. 不等式  $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$  より

$$-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} \geq 0 .$$

両辺に  $-3$  を掛けて

$$a^2 - 3a + \frac{9}{4} \leq 0 .$$

この不等式の左辺は  $a^2 - 3a + \frac{9}{4} = \left(a - \frac{3}{2}\right)^2$  なので,

$$\left(a - \frac{3}{2}\right)^2 \leq 0 .$$

よって  $a - \frac{3}{2} = 0$  なので  $a = \frac{3}{2}$ . 故に, 与えられた不等式を解くと  $a = \frac{3}{2}$ .

**終**

**問5.8.5** 変数  $k$  に関する不等式  $-3k^2 - 2k \geq \frac{1}{3}$  を解け.

不等式  $-3k^2 - 2k \geq \frac{1}{3}$  より,

問5.8.6 変数  $k$  に関する不等式  $-3k^2 - 2k \geq \frac{1}{3}$  を解け.

不等式  $-3k^2 - 2k \geq \frac{1}{3}$  より,

$$k^2 + \frac{2}{3}k + \frac{1}{9} \leq 0 ,$$

$$\left(k + \frac{1}{3}\right)^2 \leq 0 ,$$

$$k + \frac{1}{3} = 0 ,$$

$$k = -\frac{1}{3} .$$

終

例 変数  $t$  に関する不等式  $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$  を解く.

例 変数  $t$  に関する不等式  $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$  を解く. 不等式  $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$  より

$$-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} < 0 .$$

2 次方程式  $-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} = 0$  の判別式の値が 0 なので, 2 次式を因数分解するタイプである.

例 変数  $t$  に関する不等式  $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$  を解く. 不等式  $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$  より

$$-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} < 0 .$$

両辺に  $-\frac{2}{3}$  を掛けて

$$t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} > 0 .$$

例 変数  $t$  に関する不等式  $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$  を解く. 不等式  $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$  より

$$-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} < 0 .$$

両辺に  $-\frac{2}{3}$  を掛けて

$$t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} > 0 .$$

この不等式の左辺は  $t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} = \left(t - \frac{2}{3}\right)^2$  なので,

$$\left(t - \frac{2}{3}\right)^2 > 0 .$$

例 変数  $t$  に関する不等式  $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$  を解く. 不等式  $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$  より

$$-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} < 0 .$$

両辺に  $-\frac{2}{3}$  を掛けて

$$t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} > 0 .$$

この不等式の左辺は  $t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} = \left(t - \frac{2}{3}\right)^2$  なので,

$$\left(t - \frac{2}{3}\right)^2 > 0 .$$

よって  $t - \frac{2}{3} \neq 0$  なので  $t \neq \frac{2}{3}$  .

例 変数  $t$  に関する不等式  $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$  を解く. 不等式  $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$  より

$$-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} < 0 .$$

両辺に  $-\frac{2}{3}$  を掛けて

$$t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} > 0 .$$

この不等式の左辺は  $t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} = \left(t - \frac{2}{3}\right)^2$  なので,

$$\left(t - \frac{2}{3}\right)^2 > 0 .$$

よって  $t - \frac{2}{3} \neq 0$  なので  $t \neq \frac{2}{3}$ . 故に, 与えられた不等式を解くと  $t \neq \frac{2}{3}$ .

終

**問5.8.7** 変数  $y$  に関する不等式  $y - \frac{3}{5}y^2 < \frac{5}{12}$  を解け.

不等式  $y - \frac{3}{5}y^2 < \frac{5}{12}$  より,

問5.8.8 変数  $y$  に関する不等式  $y - \frac{3}{5}y^2 < \frac{5}{12}$  を解け.

不等式  $y - \frac{3}{5}y^2 < \frac{5}{12}$  より,

$$-\frac{3}{5}y^2 + y - \frac{5}{12} < 0 .$$

$$y^2 - \frac{5}{3}y + \frac{25}{36} > 0 ,$$

$$\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 > 0 ,$$

$$y - \frac{5}{6} \neq 0 ,$$

$$y \neq \frac{5}{6} .$$

終

最後に 2 次不等式の左辺の 2 次式  $ax^2 + bx + c$  について  $b^2 - 4ac < 0$  のときを扱う.

**例** 変数  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$2x^2 - 8x + 9 < 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \leq 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 > 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \geq 0.$$

**例** 変数  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$2x^2 - 8x + 9 < 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \leq 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 > 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \geq 0.$$

左辺の 2 次式の  $x^2$  の係数を 1 にするために両辺を 2 で割る：

$$x^2 - 4x + \frac{9}{2} < 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \leq 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} > 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \geq 0.$$

**例** 変数  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解く :

$$2x^2 - 8x + 9 < 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \leq 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 > 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \geq 0.$$

左辺の 2 次式の  $x^2$  の係数を 1 にするために両辺を 2 で割る :

$$x^2 - 4x + \frac{9}{2} < 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \leq 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} > 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \geq 0.$$

左辺の 2 次式  $x^2 - 4x + \frac{9}{2}$  を平方完成する :

$$x^2 - 4x + \frac{9}{2} = x^2 - 4x + 4 - 4 + \frac{9}{2} = (x - 2)^2 + \frac{1}{2}.$$

**例** 変数  $x$  に関する以下の 2 次不等式を解く :

$$2x^2 - 8x + 9 < 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \leq 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 > 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \geq 0.$$

左辺の 2 次式の  $x^2$  の係数を 1 にするために両辺を 2 で割る :

$$x^2 - 4x + \frac{9}{2} < 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \leq 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} > 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \geq 0.$$

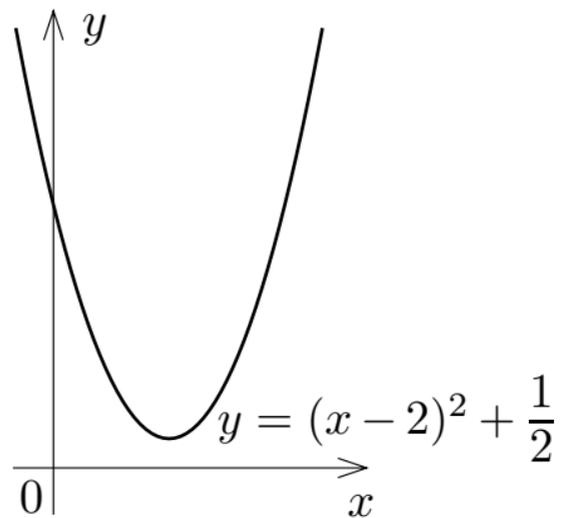
左辺の 2 次式  $2x^2 - 4x + \frac{9}{2}$  を平方完成する :

$$x^2 - 4x + \frac{9}{2} = x^2 - 4x + 4 - 4 + \frac{9}{2} = (x - 2)^2 + \frac{1}{2}.$$

$x$  に関する以下の 2 次不等式を解けばよい :

$$(x - 2)^2 + \frac{1}{2} < 0, \quad (x - 2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0, \quad (x - 2)^2 + \frac{1}{2} > 0, \quad (x - 2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0.$$

2次不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$  ,  
 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  を解けばよい.

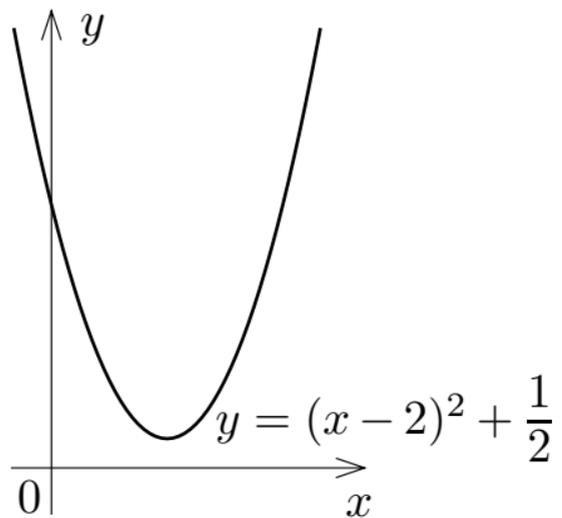


2次不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$  ,

$(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  を解けばよい.

任意の実数  $x$  について,  $(x-2)^2 \geq 0$  なので,

$$(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0 .$$



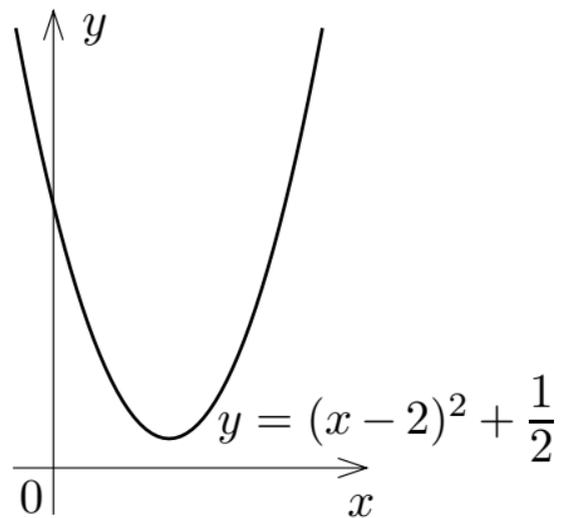
2次不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$  ,

$(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  を解けばよい.

任意の実数  $x$  について,  $(x-2)^2 \geq 0$  なので,

$$(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0 .$$

よって総ての実数が不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  の解である.



2次不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$  ,

$(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  を解けばよい.

任意の実数  $x$  について,  $(x-2)^2 \geq 0$  なので,

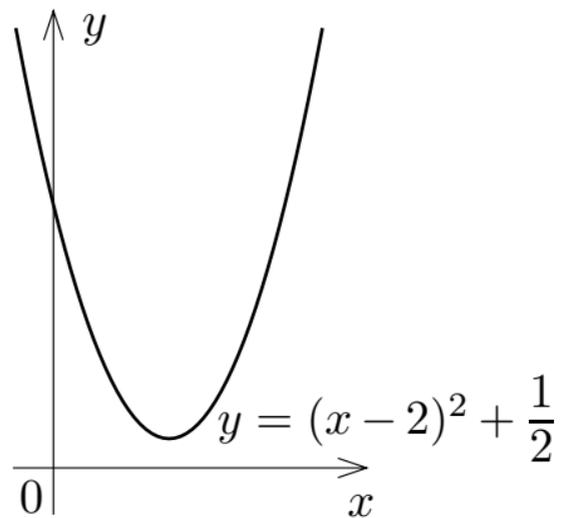
$$(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0 .$$

よって総ての実数が不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  の解

である. 任意の実数  $x$  について,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$

なので  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  ; よって総ての実数が不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  の解

である.



2次不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$  ,

$(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  を解けばよい.

任意の実数  $x$  について,  $(x-2)^2 \geq 0$  なので,

$$(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0 .$$

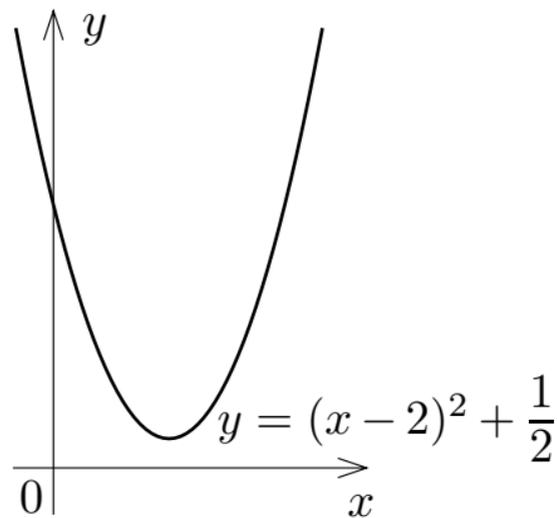
よって総ての実数が不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  の解

である. 任意の実数  $x$  について,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$

なので  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  ; よって総ての実数が不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  の解

である. 任意の実数  $x$  について  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  なので,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$

である実数  $x$  は無い; つまり不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$  の解無い.



2次不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$  ,

$(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  ,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  を解けばよい.

任意の実数  $x$  について,  $(x-2)^2 \geq 0$  なので,

$$(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0 .$$

よって総ての実数が不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  の解

である. 任意の実数  $x$  について,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$

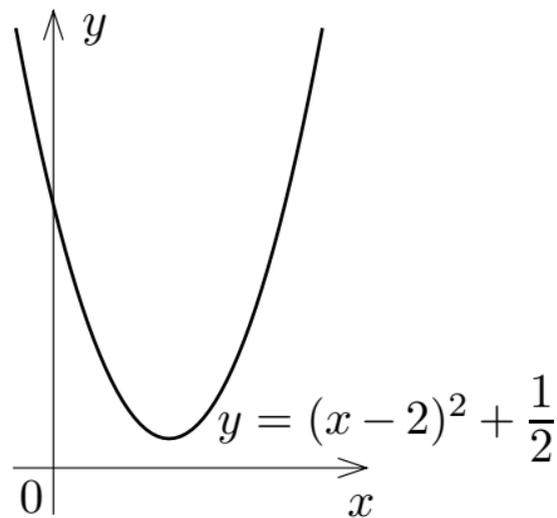
なので  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  ; よって総ての実数が不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  の解

である. 任意の実数  $x$  について  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$  なので,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$

である実数  $x$  は無い; つまり不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$  の解無い. 任意の実数

$x$  について  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$  なので,  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$  である実数  $x$  は無

い; つまり不等式  $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$  の解は無い.



**例** 変数  $u$  に関する不等式  $2u^2 > 6u - 5$  を解く.

**例** 変数  $u$  に関する不等式  $2u^2 > 6u - 5$  を解く. 不等式  $2u^2 > 6u - 5$  より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

2次方程式  $2u^2 - 6u + 5 = 0$  の判別式の値が負なので, 2次式を平方完成するタイプである.

**例** 変数  $u$  に関する不等式  $2u^2 > 6u - 5$  を解く. 不等式  $2u^2 > 6u - 5$  より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} > 0 .$$

**例** 変数  $u$  に関する不等式  $2u^2 > 6u - 5$  を解く. 不等式  $2u^2 > 6u - 5$  より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} > 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} = u^2 - 2 \cdot \frac{3}{2}u + \left(\frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4} + \frac{5}{2} = \left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} ,$$

**例** 変数  $u$  に関する不等式  $2u^2 > 6u - 5$  を解く. 不等式  $2u^2 > 6u - 5$  より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} > 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} = u^2 - 2 \cdot \frac{3}{2}u + \left(\frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4} + \frac{5}{2} = \left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} ,$$

よって

$$\left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} > 0 .$$

**例** 変数  $u$  に関する不等式  $2u^2 > 6u - 5$  を解く. 不等式  $2u^2 > 6u - 5$  より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} > 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} = u^2 - 2 \cdot \frac{3}{2}u + \left(\frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4} + \frac{5}{2} = \left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} ,$$

よって

$$\left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} > 0 .$$

任意の実数  $u$  について  $\left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} \geq \frac{1}{4} > 0$  .

**例** 変数  $u$  に関する不等式  $2u^2 > 6u - 5$  を解く. 不等式  $2u^2 > 6u - 5$  より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} > 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} = u^2 - 2 \cdot \frac{3}{2}u + \left(\frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4} + \frac{5}{2} = \left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} ,$$

よって

$$\left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} > 0 .$$

任意の実数  $u$  について  $\left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} \geq \frac{1}{4} > 0$  . 故に総ての実数が与えられた不等式の解である.

**終**

**例** 変数  $t$  に関する不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  を解く.

**例** 変数  $t$  に関する不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  を解く. 不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

2次方程式  $3t^2 + 5t + 4 = 0$  の判別式の値が負なので, 2次式を平方完成するタイプである.

**例** 変数  $t$  に関する不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  を解く. 不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0 .$$

**例** 変数  $t$  に関する不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  を解く. 不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} = t^2 + 2 \cdot \frac{5}{6}t + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{25}{36} + \frac{4}{3} = \left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} ,$$

**例** 変数  $t$  に関する不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  を解く. 不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} = t^2 + 2 \cdot \frac{5}{6}t + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{25}{36} + \frac{4}{3} = \left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} ,$$

よって

$$\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0 .$$

**例** 変数  $t$  に関する不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  を解く. 不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} = t^2 + 2 \cdot \frac{5}{6}t + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{25}{36} + \frac{4}{3} = \left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} ,$$

よって

$$\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0 .$$

任意の実数  $t$  について  $\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \geq \frac{23}{36} > 0$  .

**例** 変数  $t$  に関する不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  を解く. 不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} = t^2 + 2 \cdot \frac{5}{6}t + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{25}{36} + \frac{4}{3} = \left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} ,$$

よって

$$\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0 .$$

任意の実数  $t$  について  $\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \geq \frac{23}{36} > 0$  . よって  $\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0$

である実数  $t$  は無い.

**例** 変数  $t$  に関する不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  を解く. 不等式  $3t^2 \leq -5t - 4$  より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} = t^2 + 2 \cdot \frac{5}{6}t + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{25}{36} + \frac{4}{3} = \left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} ,$$

よって

$$\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0 .$$

任意の実数  $t$  について  $\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \geq \frac{23}{36} > 0$  . よって  $\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0$

である実数  $t$  は無い. 故に与えられた不等式の解は無い.

**終**

問5.8.9 変数  $x$  に関する不等式  $\frac{2x^2+1}{5} > \frac{x}{2}$  を解け.

不等式  $\frac{2x^2+1}{5} > \frac{x}{2}$  より,

$$\frac{2x^2+1}{5} - \frac{x}{2} > 0.$$

この不等式の左辺は

$$\frac{2x^2+1}{5} - \frac{x}{2} = \frac{4x^2+2-5x}{10} = \frac{(x-\frac{5}{4})^2 - \frac{9}{16}}{10}.$$

よって

$$\frac{(x-\frac{5}{4})^2 - \frac{9}{16}}{10} > 0.$$

任意の実数  $x$  について,  $\frac{(x-\frac{5}{4})^2 - \frac{9}{16}}{10} > 0$ . 故に

問5.8.9 変数  $x$  に関する不等式  $\frac{2x^2+1}{5} > \frac{x}{2}$  を解け.

不等式  $\frac{2x^2+1}{5} > \frac{x}{2}$  より,

$$2x^2 + 1 > \frac{5}{2}x ,$$

$$x^2 - \frac{5}{4}x + \frac{1}{2} > 0 .$$

この不等式の左辺は

$$x^2 - \frac{5}{4}x + \frac{1}{2} = x^2 - 2 \cdot \frac{5}{8} + \left(\frac{5}{8}\right)^2 - \frac{25}{64} + \frac{1}{2} = \left(x - \frac{5}{8}\right)^2 + \frac{7}{64} .$$

よって

$$\left(x - \frac{5}{8}\right)^2 + \frac{7}{64} > 0 .$$

任意の実数  $x$  について,  $\left(x - \frac{5}{8}\right)^2 + \frac{7}{64} > 0$  . 故に総ての実数が与えられた不等式の解である.

終

問5.8.10 変数  $x$  に関する不等式  $2(x+1)^2 \leq x$  を解け.

不等式  $2(x+1)^2 \leq x$  より,

$$x^2 \leq \dots$$

この不等式の左辺は

$$x^2 = x^2 = (x \quad )^2, \quad ,$$

よって

$$(x \quad )^2 \geq 0.$$

任意の実数  $x$  について  $(x \quad )^2 \geq 0$ , よって  $(x \quad )^2$

故に

**問5.8.10** 変数  $x$  に関する不等式  $2(x+1)^2 \leq x$  を解け.

不等式  $2(x+1)^2 \leq x$  より,

$$2x^2 + 4x + 2 \leq x ,$$

$$x^2 + \frac{3}{2}x + 1 \leq 0 .$$

この不等式の左辺は

$$x^2 + \frac{3}{2}x + 1 = x^2 + 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2 - \frac{9}{16} + 1 = \left(x + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{7}{16} ,$$

よって

$$\left(x + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{7}{16} \leq 0 .$$

任意の実数  $x$  について  $\left(x + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{7}{16} > 0$  , よって  $\left(x + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{7}{16} \leq 0$  で

ある実数  $x$  は無い. 故に与えられた不等式の解は無い.

**終**

定数  $a, b, c$  は実数で  $a > 0$  とする. 変数  $x$  に関する 2 次不等式

$$ax^2 + bx + c < 0, \quad ax^2 + bx + c \leq 0, \quad ax^2 + bx + c > 0, \quad ax^2 + bx + c \geq 0$$

の解法をまとめる.

$b^2 - 4ac > 0$  とする. 定理 3.4 により 2 次方程式  $ax^2 + bx + c = 0$  には異なる 2 個の実数解  $\alpha, \beta$  とがある. 2 次式の因数分解の公式 (3.5 節) により

$$ax^2 + bx + c = a(x - \alpha)(x - \beta).$$

この因数分解された 2 次式  $a(x - \alpha)(x - \beta)$  の値の符号を調べる.  $\alpha < \beta$  とする.  $a > 0$  とした.

$x$ の値	$x < \alpha$	$x = \alpha$	$\alpha < x < \beta$	$x = \beta$	$\beta < x$
$x - \alpha$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - \beta$ の値の符号	-	-	-	0	+
$a(x - \alpha)(x - \beta)$ の値の符号	+	0	-	0	+

この表から次のことが分かる: 実数  $a, \alpha, \beta$  について,  $a > 0$ ,  $\alpha < \beta$  のとき,

$x$  に関する不等式  $a(x - \alpha)(x - \beta) < 0$  を解くと  $\alpha < x < \beta$ ,

$x$  に関する不等式  $a(x - \alpha)(x - \beta) \leq 0$  を解くと  $\alpha \leq x \leq \beta$ ,

$x$  に関する不等式  $a(x - \alpha)(x - \beta) > 0$  を解くと  $x < \alpha$  または  $x > \beta$ ,

$x$  に関する不等式  $a(x - \alpha)(x - \beta) \geq 0$  を解くと  $x \leq \alpha$  または  $x \geq \beta$ .

$b^2 - 4ac = 0$  とする. 定理 3.4 により  $x$  に関する 2 次方程式  $ax^2 + bx + c = 0$  の解  $\alpha$  は実数の重解である. 2 次式の因数分解の公式 (3.5 節) により

$$ax^2 + bx + c = a(x - \alpha)^2 .$$

$a > 0$  なので, 総ての実数  $x$  について  $a(x - \alpha)^2 \geq 0$  ; 従って更に,  $a(x - \alpha)^2 < 0$  である実数  $x$  は無い. よって,

総ての実数が  $x$  に関する不等式  $a(x - \alpha)^2 \geq 0$  の解である ;

$x$  に関する不等式  $a(x - \alpha)^2 < 0$  の解は無い.

また,  $a > 0$  なので,

$$a(x - \alpha)^2 \leq 0 \iff (x - \alpha)^2 \leq 0 \iff x - \alpha = 0 \iff x = \alpha ,$$

$$a(x - \alpha)^2 > 0 \iff (x - \alpha)^2 > 0 \iff x - \alpha \neq 0 \iff x \neq \alpha ;$$

故に,

$x$  に関する不等式  $a(x - \alpha)^2 \leq 0$  を解くと  $x = \alpha$  ,

$x$  に関する不等式  $a(x - \alpha)^2 > 0$  を解くと  $x \neq \alpha$  .

$b^2 - 4ac < 0$  とする. 加えて  $a > 0$  とする. 定理 5.2 により,

任意の実数  $x$  について  $ax^2 + bx + c > 0$  ,

任意の実数  $x$  について  $ax^2 + bx + c \geq 0$  ;

従ってまた,

$ax^2 + bx + c \leq 0$  となる実数  $x$  は無い,

$ax^2 + bx + c < 0$  となる実数  $x$  は無い.

故に,

総ての実数が  $x$  に関する不等式  $ax^2 + bx + c > 0$  の解である ;

総ての実数が  $x$  に関する不等式  $ax^2 + bx + c \geq 0$  の解である ;

$x$  に関する不等式  $ax^2 + bx + c \leq 0$  の解は無い ;

$x$  に関する不等式  $ax^2 + bx + c < 0$  の解は無い.